

みかん用

# フルーツパラソル22

100枚入

## フルーツパラソルの特徴

- ①厚みのある材質です。
- ②収穫後の一次選別が簡単。
- ③かさ掛け作業が果実袋に比べ3倍以上の速さ。
- ④凍霜害と降雪による果実障害を軽減。
- ⑤発泡材質と特殊な形状は水のしたたりを防ぎ、水汚れを防止。

※風の強い園地や果実の下枝でスレキズが付く場合がございます。



特許出願中

★カサはホッチキスで止める方式です。(カサは光を透します)



◇サイズ：220×220mm  
◇材質：ブルーフィルム+発泡



オモテ



ウラ

★正しい止め方で水の浸入を防止しましょう。



カサのカドを揃える  
☆マークが上になるように



ホッチキスは端で止める



水の浸入を防ぐため  
軸をしっかり包み込  
むように止める

製造元 ☆ 星野株式会社

〒950-1455 新潟県新潟市南区新飯田2294-2  
TEL. 025-374-2201(代) FAX. 025-374-2171

# フルーツパラソル & 防鳥ネット



## ～取り付け手順～



### ポイント

③果実の上部までネットを掛けるとカサが巻き込み水が浸入してくるので果実上部は掛けない。

⑤☆マークが上になるように重ねホッチキスで止める。軸から水が浸入しないように丁寧にする。





果実袋の違いが「不知火」、「はるみ」の果実に及ぼす影響

農業試験場府中果樹研究所

1. 目的

「不知火」、「はるみ」において果実袋の違いが果実に及ぼす影響について検討を行い、果皮障害等の軽減対策技術を検討する。

2. 方法

- 1) 供試樹：農試府中果樹研究所内ほ場の不知火（11年生）およびはるみ（8年生）
- 2) 試験区：試作笠かけ区、試作二重袋区、慣行二重袋区を設けた（第1表）。
- 3) 試験方法：2013年11月26日及び12月2日に、ランダムに所定の果実袋により袋かけ（笠かけ）を行った。

第1表 供試した果実袋の特徴

試験区	果実袋の色	形態
試作笠かけ区	上面：シルバー、下面：白色	19×20cm
試作二重袋区	外袋：オレンジ色、内袋：赤色	二重袋
慣行二重袋区	外袋：緑色、内袋：赤色	二重袋

- 4) 調査方法：いずれの区とも2014年2月中旬に果実を収穫し、定法により果皮障害の発生程度等について調査を行った。また、不知火については収穫時に果皮障害が発生していない果実を約1ヶ月常温で貯蔵した後にも果皮障害等の発生について調査を行った。

3. 結果の概要

- 1) 不知火では、試作笠かけ区で収穫時の果皮障害、水腐れ症の発生が最も少なくなった。また、貯蔵1ヶ月後においては試作笠かけ区で果皮障害果は見られたが、水腐れ症は少なかった（第2表）。
- 2) はるみでは、試作笠かけ区で収穫時の果皮障害の発生が最も少なくなった（第3表）。
- 3) 鳥害については認められなかった。

第2表 不知火の果皮障害等の発生（2014）

試験区	収穫時の発生果率（%）		収穫1ヶ月後の発生果率（%）	
	果皮障害	水腐れ症	果皮障害	水腐れ症
試作笠かけ区	23.1	5.1	3.6	7.1
試作二重袋区	28.8	23.1	0.0	24.0
慣行二重袋区	28.3	10.9	0.0	10.7

第3表 はるみの果皮障害の発生（2014）

試験区	果皮障害の発生果率（%）
試作笠かけ区	6.7
慣行二重袋区	34.1
対照無処理区	40.4